

# 新日軽 ウィングバルコニー(連結タイプ)組立施工マニュアル

## ■販売店・工事店へのお願い

先付金具の施工マニュアルも、合わせてお読みください。

マニュアル番号 ME-1269

## ■規格表

名称		規格記号	梱包明細
機材	関東圏	1.0 間用	セット部品 (SE-1258-01) ① ⑥ 本ネジ $\phi 5.1 \times 63$ ⑦ フッシャー ( $\phi 6$ 用) ⑧ 水抜き穴フサギ ⑨ 水抜き穴ソーラー ⑩ $\phi 4 \times 12$ トラス ⑪ セルフビス $\phi 4 \times 13$ ナブ
		1.5 間用	
		2.0 間用	
	関西圏	1.0 間用	
		1.5 間用	
		2.0 間用	
たて格子 パネル	関東圏	1.0 間用	セット部品 (NSB-97-01) ① セルフビス $\phi 4 \times 13$ ナブ ⑫
		1.5 間用	
		2.0 間用	
	関西圏	1.0 間用	
		1.5 間用	
		2.0 間用	
根太材	関東圏	1.0 間 x 2尺用	セット部品 (SE-1214-21) ① 六角ボルト M8x16 ⑩ M8用フッシャー ⑮ 六角ナット M8用 ⑭ セルフビス $\phi 4 \times 13$ ⑰
		1.0 間 x 3尺用	
		1.0 間 x 2尺用	
		1.0 間 x 3尺用	
		1.0 間 x 2尺用	
		1.0 間 x 3尺用	
	関西圏	1.0 間 x 2尺用	セット部品 (SE-1214-22) ① 六角ボルト M8x16 ⑭ M8用フッシャー ⑰ 六角ナット M8用 ⑮ セルフビス $\phi 4 \times 13$ ⑱
		1.0 間 x 3尺用	
		1.0 間 x 2尺用	
		1.0 間 x 3尺用	
		1.0 間 x 2尺用	
		1.0 間 x 3尺用	
連結用部品箱	RBOXN		コーチスクリュー $\phi 8 \times 75$ ⑨ 六角ボルト M8x30 ⑥ M8用フッシャー ⑫ 六角ナット M8用 ⑬ 六角ナット M10用 ⑭ 衝物パネルパッキン ② けたソーラー (左右) ③ 妻雨樋端面パッキン ④ M10用フッシャー ⑤ 連結衝物水切りパッキン ① 水切連結カバー ⑦ 施工マニュアル ⑧

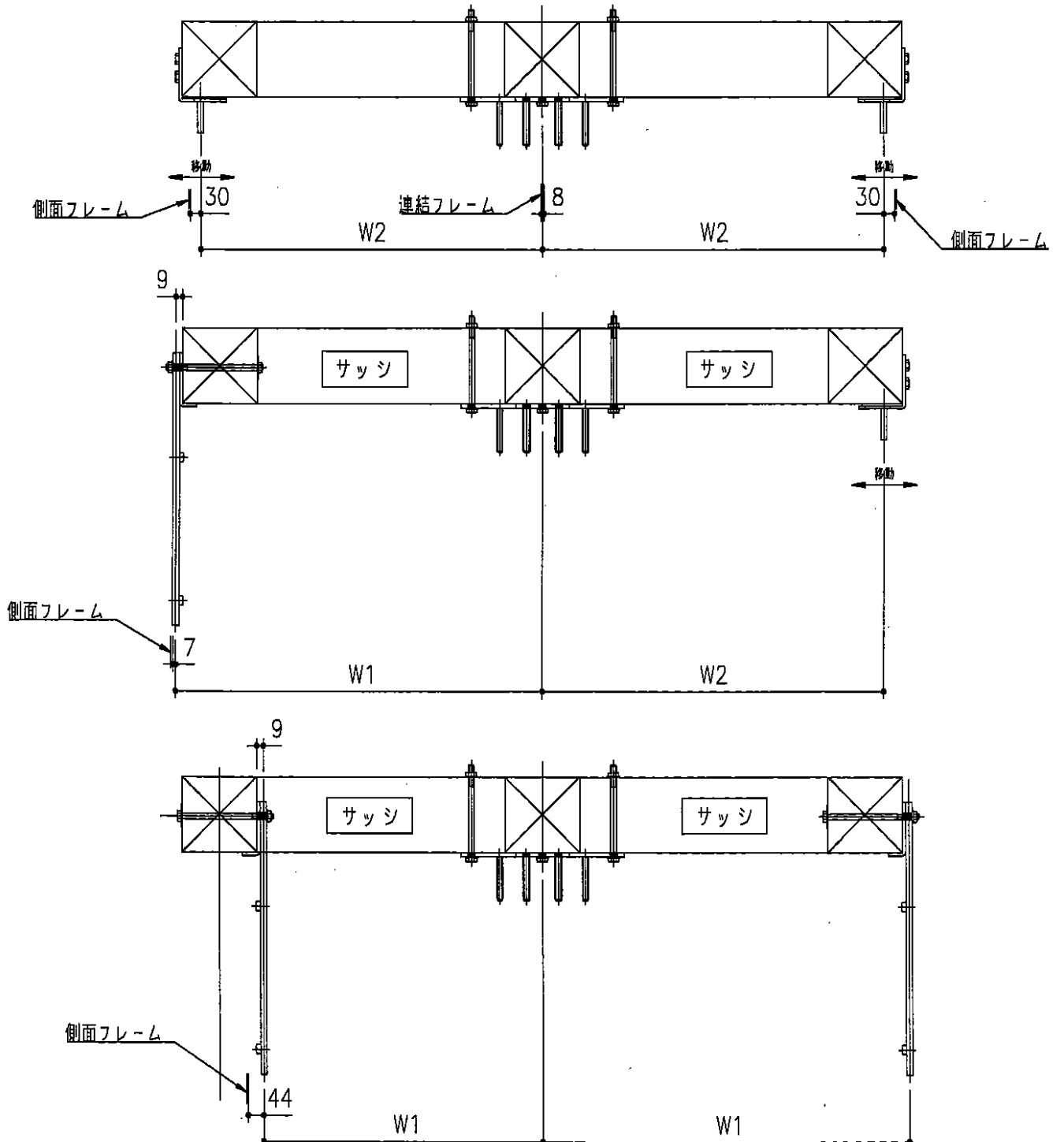
## ※切詰寸法表

柱口 間別	長さ W1			長さ W2			
	1 間	1.5 間	2 間	1 間	1.5 間	2 間	
90°	関東圏	1872	2781	3690	1836	2745	3654
	関西圏	2053	3007	3962	2009	2963	3918
105°	関東圏	1879.5	2788.5	3697.5	1836	2745	3654
	関西圏	2075.5	3029.5	3984.5	2032	2986	3941
120°	関東圏	1749	2658	3567	1836	2745	3654
	関西圏	1960	2914	3869	2054	3008	3963

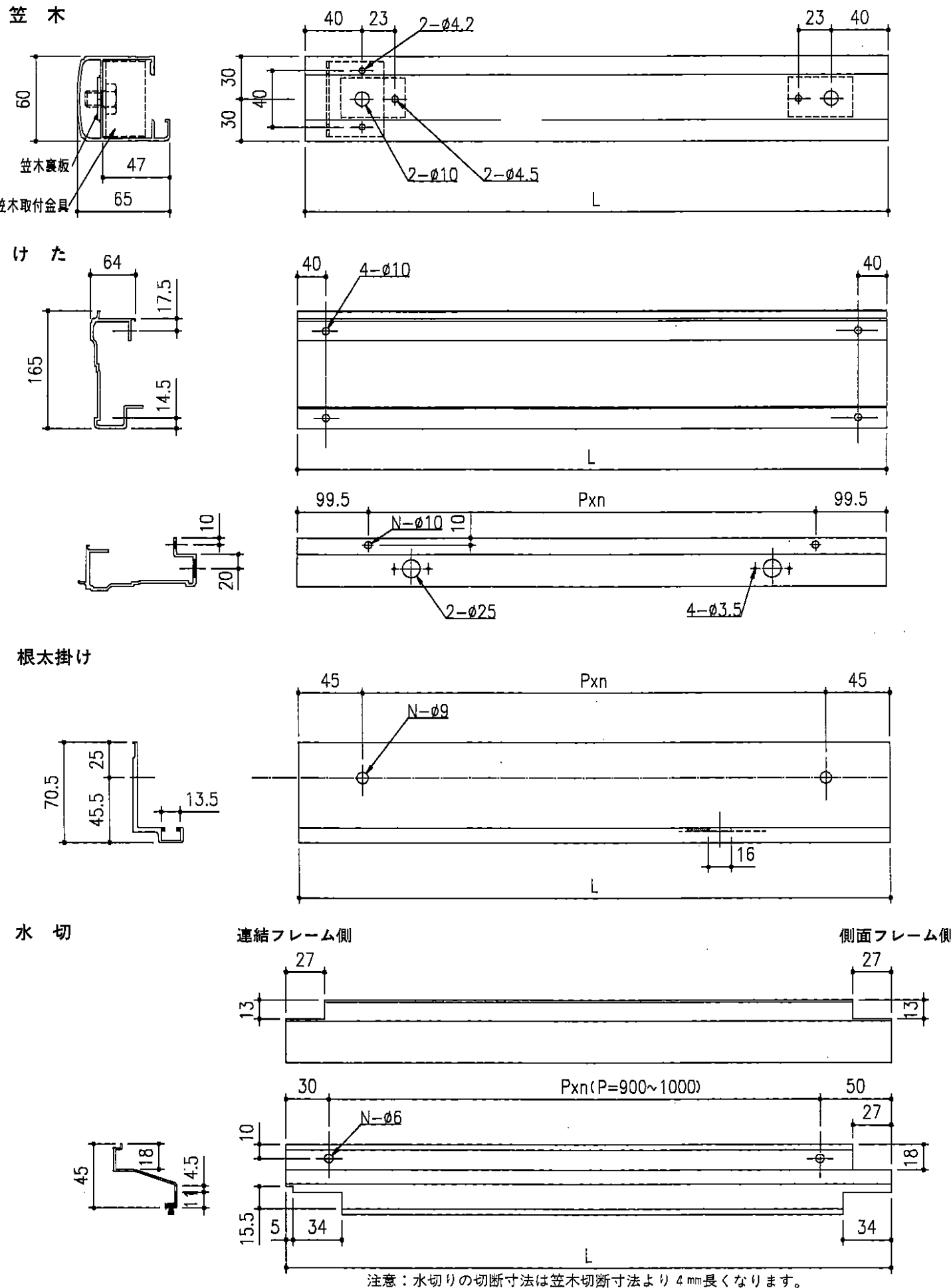
柱口 間別	切詰寸法 $\phi 1$			切詰寸法 $\phi 2$			
	1 間	1.5 間	2 間	1 間	1.5 間	2 間	
90°	関東圏	56	56	56	69	69	69
	関西圏	75	74	74	96	95	95
105°	関東圏	48.5	48.5	48.5	69	69	69
	関西圏	52.5	51.5	51.5	73	72	72
120°	関東圏	70.5x2	70.5x2	70.5x2	69	69	69
	関西圏	130	129	129	51	50	50

- ※注意
- 戸袋調整ブラケット仕様  
120角柱タイプは全てサッシ側にブラケットが付きません。
  - 通しボルト仕様  
端部から孔明け位置まで24mm以下の場合使用不可。
  - 切詰仕様  
桁材端部加工のため切詰寸法は47mm~130mmまで、それ以上は両端から切詰。

※切り詰め値  $\ell$  = 製品寸法 - (W + 26)  
 製品寸法 = (W + 26) + 切り詰め値  $\ell$   
 ※注意: 水切り材は上記寸法より 4mm長くなります。



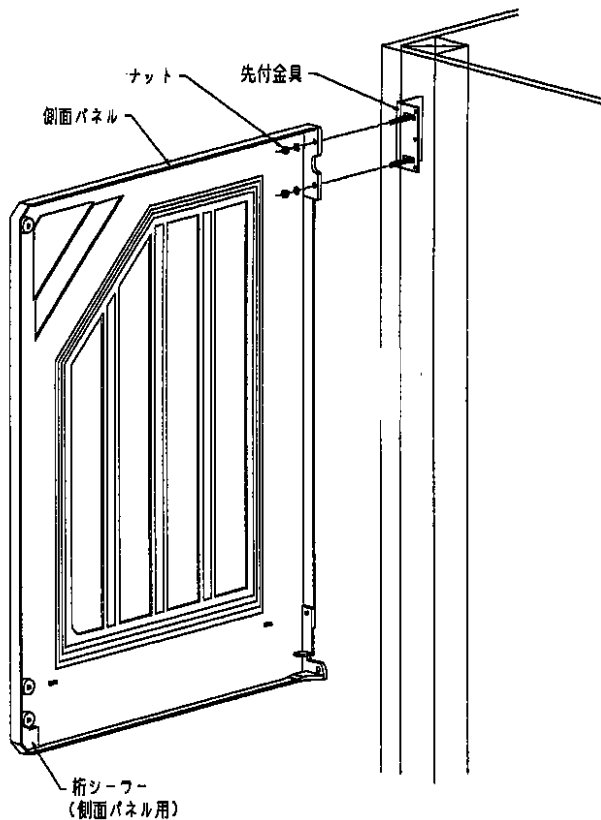
※加工図



前面パネル……調整用レールも含めて、端部より切詰めてください。

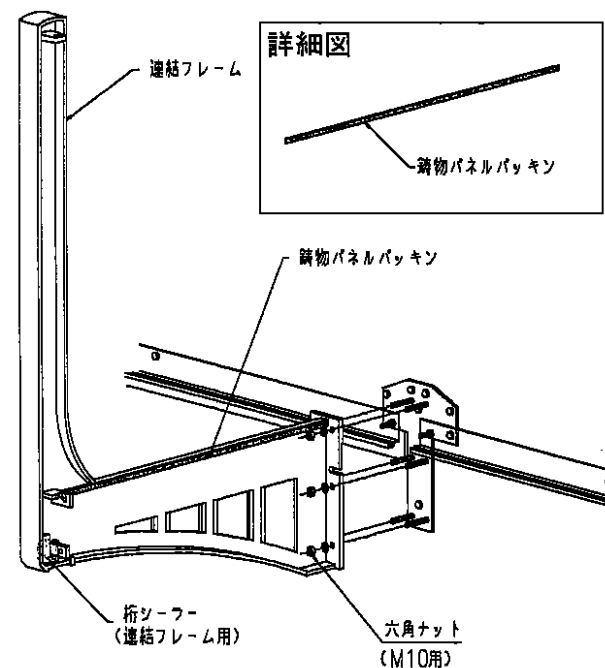
1. 桁シーラーの貼付け・側面パネルの仮止め

- 側面パネルに桁シーラーを貼付けてください。
- 先付金具に側面パネルを仮止めしてください。  
 (一番上のナットのみ仮止めしてください。)



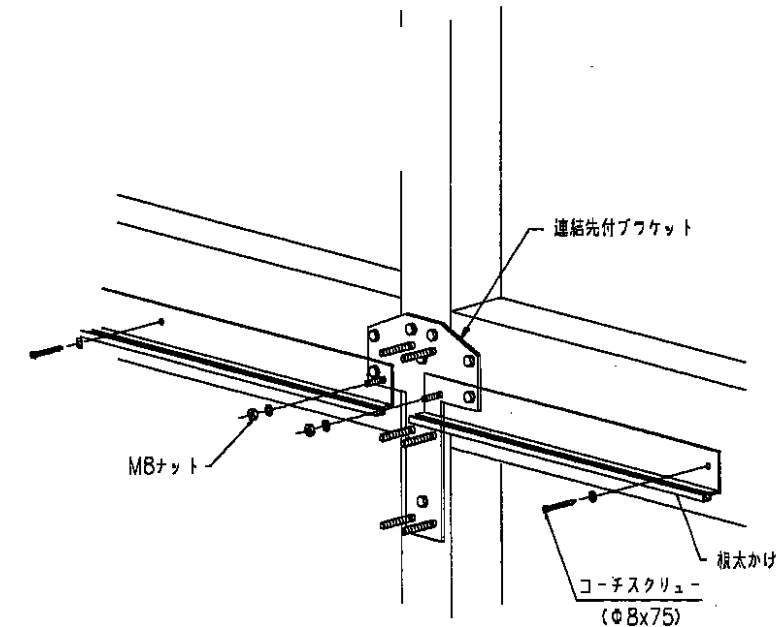
3. 連結フレームの取付け

- 連結フレームに鋳物パネルバックンを両端に貼付けてください。
- 連結フレームに桁シーラーを貼付けてください。
- 連結フレームをワッシャー、ナットで仮止めしてください。



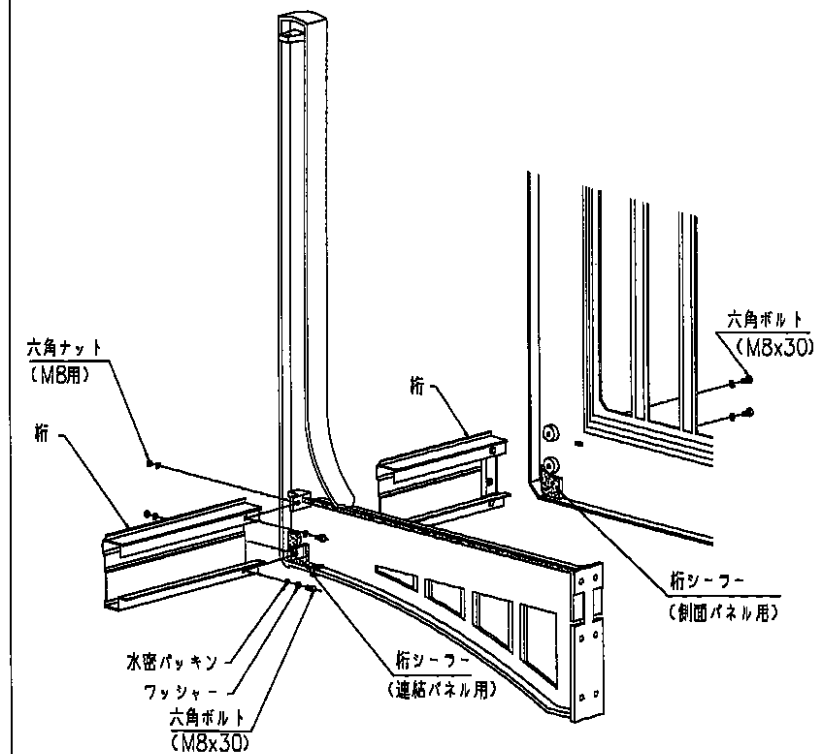
2. 根太掛けの取付け

- 根太掛け取付位置は、水平を出し墨出ししてください。
- 下穴(φ5.5)にコーキング材を充填し、コーチスクリューで固定して、連結部はナット、ワッシャーで固定してください。  
 尚、根太かけ端部穴(φ9)を連結先付ブラケットのボルト(M8)に差し込みナットで固定してください。



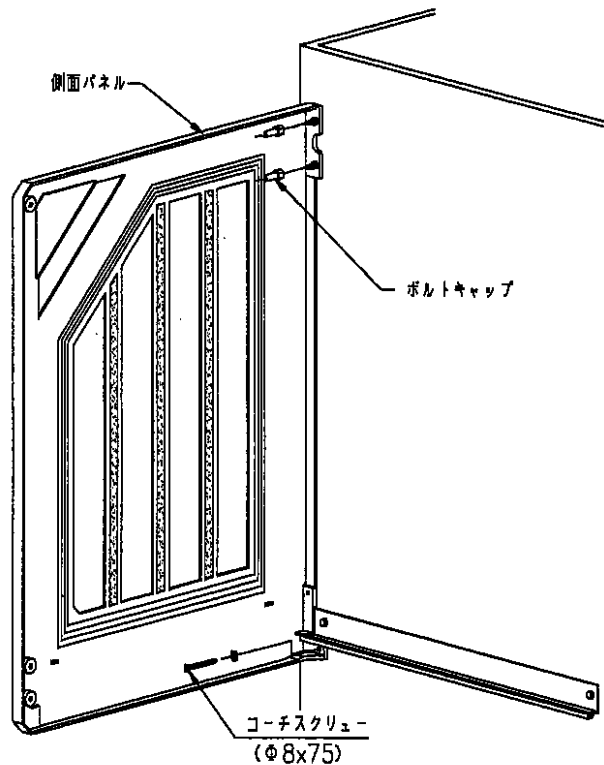
4. 桁の取付け

- 桁を側面フレーム及び連結フレームに六角ボルトで固定してください。  
 (注意)  
 ○下側のボルトには防水バックンを嵌め込んでから取付けてください。  
 ○ナットが回転しますのでスパナにて押さえてください。



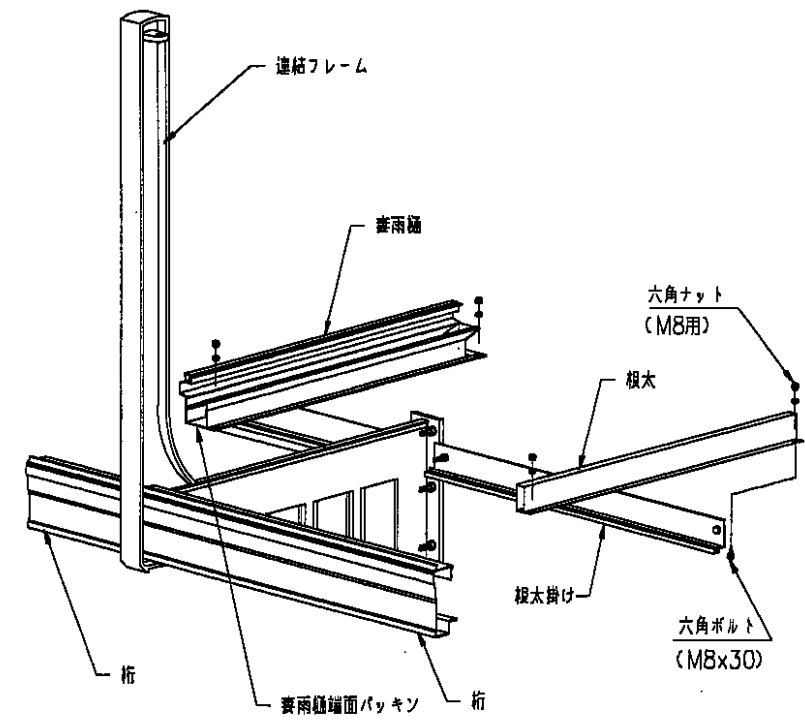
### 5. 側面パネル・連結フレームの固定

- 仮止めした側面フレームの垂直を再度確認し、下穴にコーキング材を充填、コーチスクリューで固定し、次に六角ボルトで固定してください
- 連結フレームを垂直を確認し、ナットで固定してください。
- ボルトキャップをナットに嵌め込んでください。



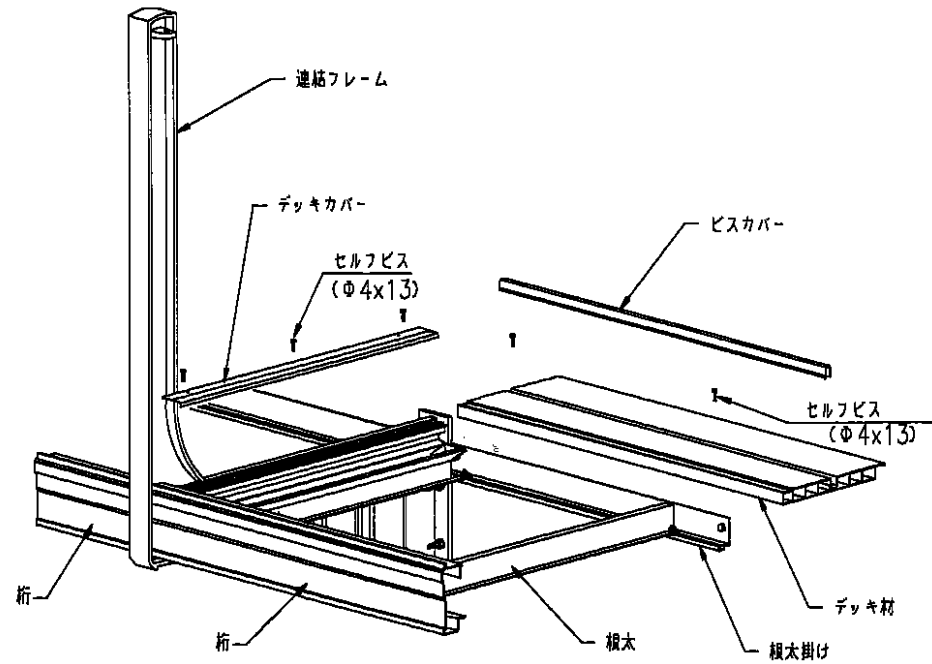
### 6. 妻雨樋・根太の取付け

- 妻雨樋の桁側に妻雨樋端面パッキンを桁と接する部分に貼り付けてください。
- 妻雨樋・根太を根太掛けと桁に、ボルト、ナット、ワッシャーで固定してください。



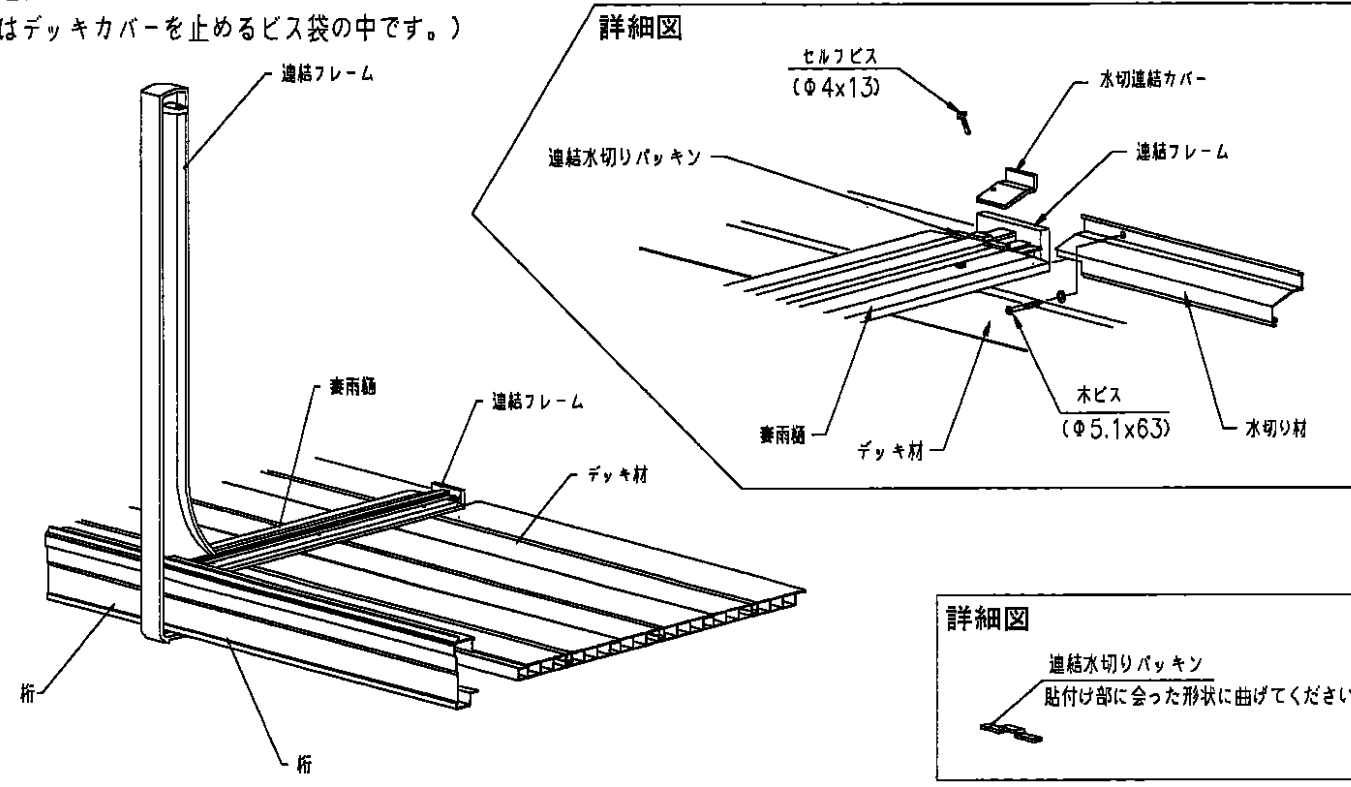
### 7. デッキ材の取付け

- デッキ材の取付方向をまちがえないでください。
- デッキ材の、のみこみを調整してください。
- デッキ材を根太にセルフビスで取付けてください。
- ビスカバーを、嵌め込んでください。
- デッキカバーを妻雨樋にセルフビスで取付けてください。



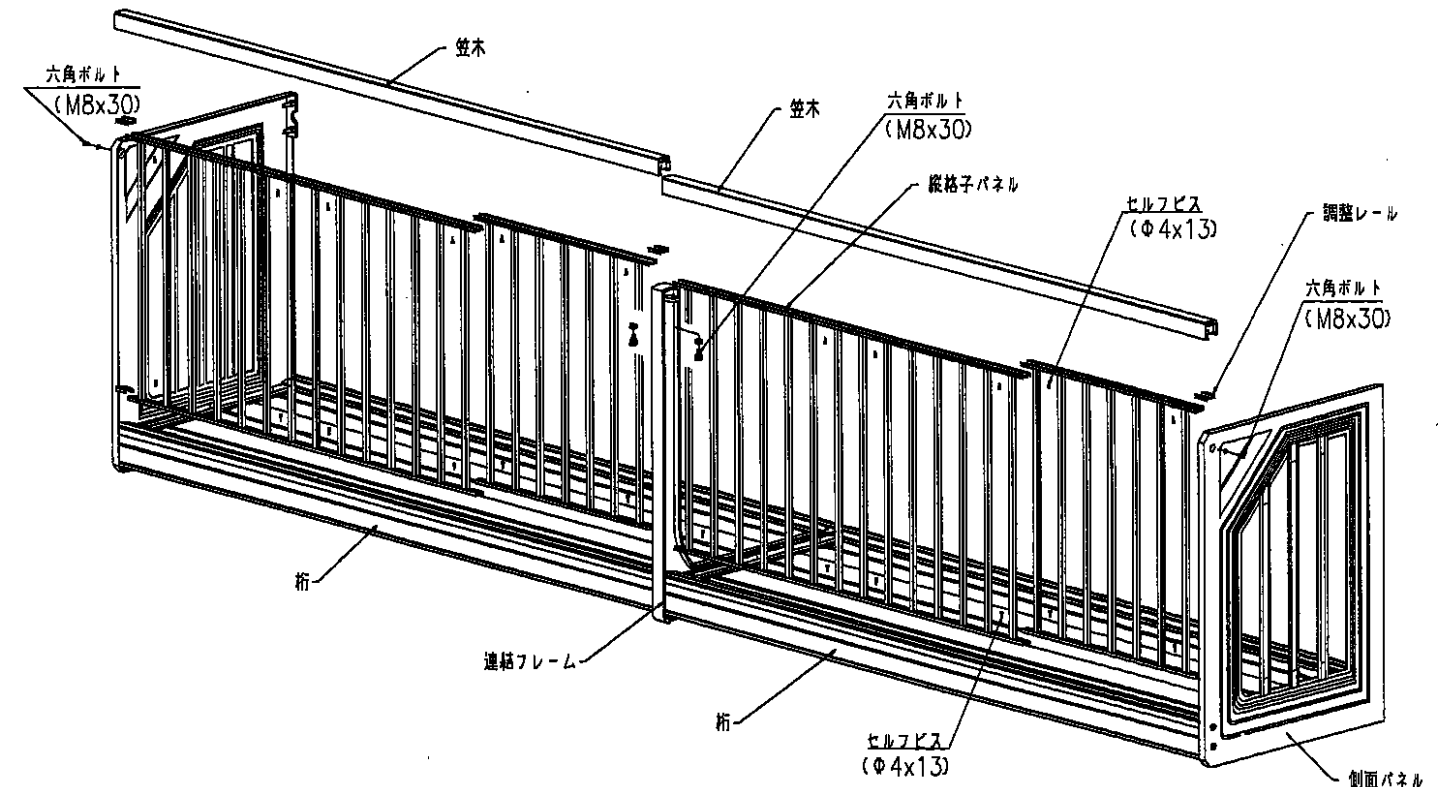
### 8. 水切り材の取付け

- 連結水切りパッキンを妻雨樋と連結フレームに水切り材が接する部分に貼付けてください。
- 下穴(Φ3)にコーキング材を充填し、水切り材をデッキ材に押し付けながら木ビスで取付けてください。
- 水切連結カバーをセルフビスで固定してください。(ビスはデッキカバーを止めるビス袋の中です。)

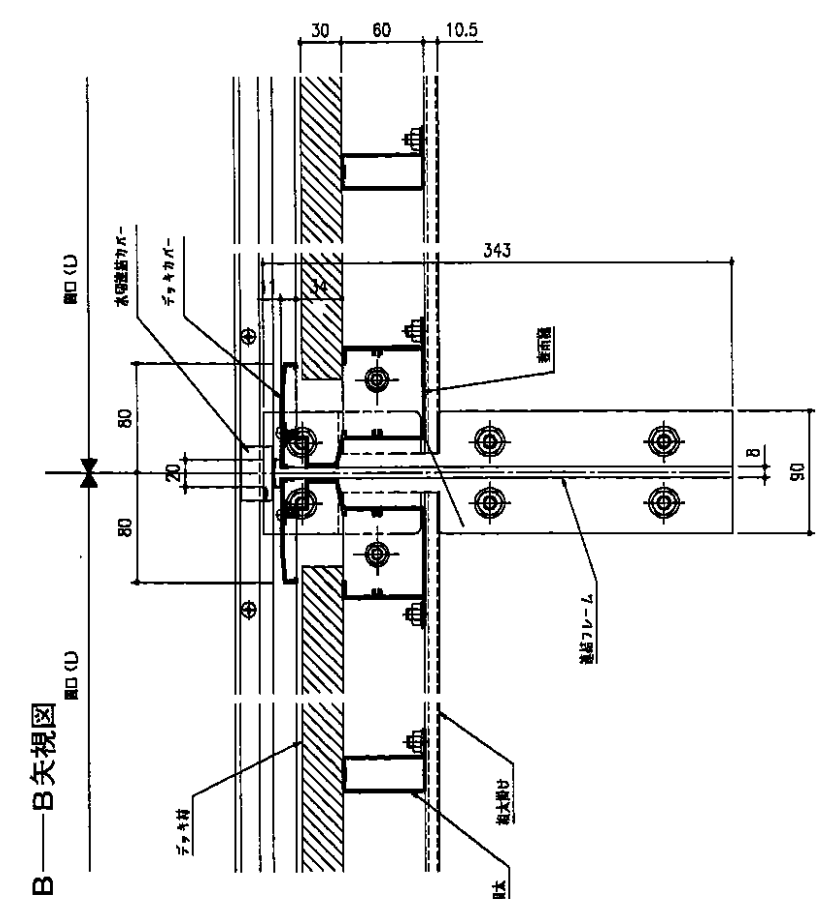
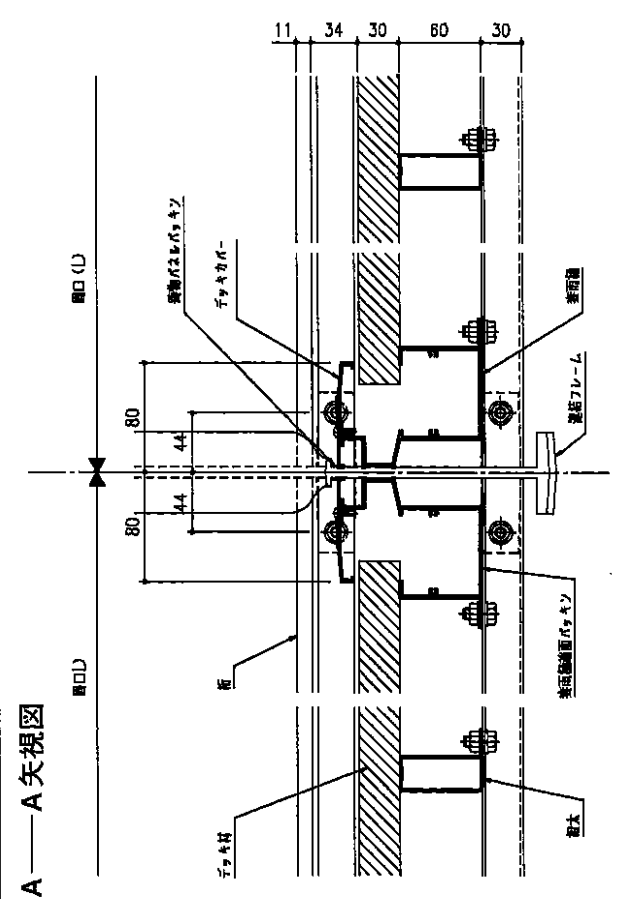
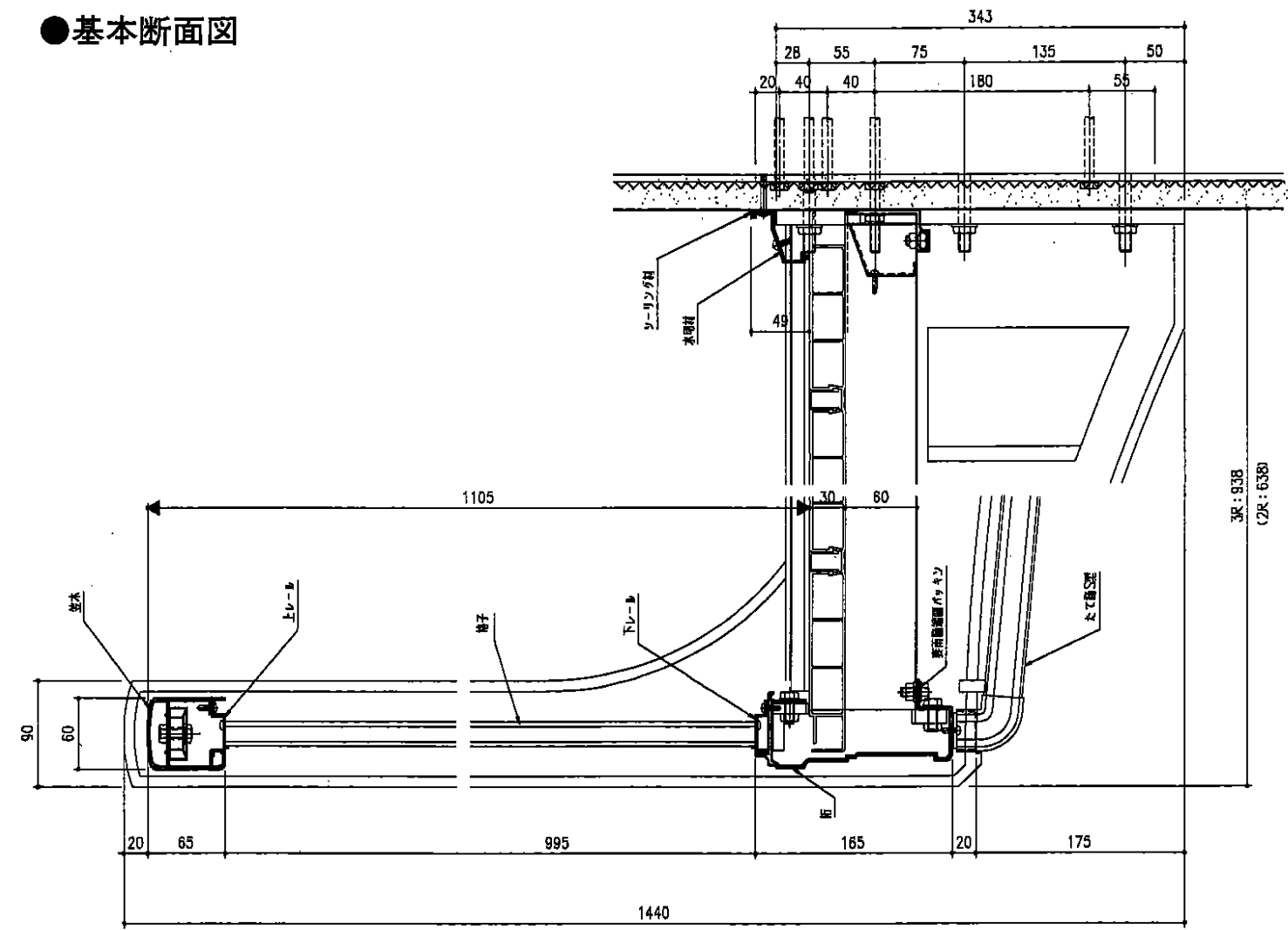


### 9. 側面パネルの固定

- 桁に縦格子パネルをのせ、笠木をその上に乗せてください。
- 笠木を、側面パネル及び連結フレームにボルトで左右とも固定してください。
- 縦格子パネルの両端部に、調整レールを入れてセルフビスで止めてください。
- 雨樋S型 (ZBBOX5N・ZBBOX3N) を桁に取付けてください。



●基本断面図



●基本断面図

